

第 1 回地区庶務担当理事連絡協議会

と き 平成 28 年 4 月 27 日（水）午後 2 時 30 分～

ところ 京都府医師会館 2 F 212・213 会議室

△森会長挨拶

森府医会長は冒頭、4 月 14 日の熊本地震について触れ、府医に対策本部を設置し 20 日から JMAT 京都の派遣を行ったことを報告するとともに、協力をいただいた地区の先生方に感謝の意を表した。東日本大震災以降 5 年間、東北地方の復興に向けた取り組みが進められてきたが、九州地方での火山活動・地震活動にも迅速な対応が必要になってくるだろうとの見通しを示した。

また、震度 7 の地震に加え、連日に渡る震度 5 強の地震発生のため、避難場所の確保が困難な地域もあるとし、医療支援についても混乱が続いているとの現状を報告し、これからも様々な支援が必要になることから、引き続き地区にも協力を求めた。

さらに、JMAT 発足以来、研修会や実地のトレーニングを行ってきたことから、派遣された医師たちも適切に対応できたとし、看護協会・薬剤師会とも連携を取りながら、十分な取り組みになったとの考えを示した。

続いて、経済の低迷が続いていることについて、未だ世界の景気は回復することなく、中国や東アジア、アメリカ等の経済頼みであった日本が、経済・社会状況不安定から世界経済を騒がせている。また、経済活動の基本である企業のガバナンスの低下を招いているとし、このような状況が継続することは、更なる景気の悪化をもたらすのではないかとの懸念を示した。また、安倍政権においては、現在の支持率の安定が今後の経済への期待である一方、強力な野党がおらず一強他弱の状態であり、国民は安倍政権に頼らざるを得ないのが心情ではないかとの考えを述べた。

最後に、国民の健康と生命を守ることを基本として、信頼を確保していくことが今後の日本の発展と安定に繋がると述べ、京都府民を地域医療で守り、府医や各医療機関もガバナンスを発揮しつつ、28 年度の取り組みを進めていきたいとして挨拶を締めくくった。

△報告ならびに協議事項

1. 最近の中央情勢について（古家理事）

3 月下旬から 4 月中旬にかけての社会・医療保険状況について、患者申出療養や高額薬剤の適正化の話題を中心に説明した。

2. 庶務関係連絡事項について（谷口理事）

「地区医師会長への連絡依頼事項」を各地区に配布するとともに、府医事務局休務時（ゴールデンウィーク・年末年始）における会員ご逝去の際の弔辞、供花等の手配について協力を依頼した。

3. 地区医師会との懇談会及び保険医療懇談会について（谷口理事）

地区医師会との懇談会について、今年度も例年通り開催することを案内。各地区に開催希望日を確認し、日程調整を行うことを報告した。また、10月・11月に希望日が集中することから、各地区には配慮いただくよう依頼した。

4. 熊本地震の被災医療機関等に対する支援について（城守理事）

熊本地震により被災された医療機関および地元医師会を支援するため、会員からの支援金の受付を行うことを報告し、各地区での周知をお願いするとともに支援協力を呼びかけた。

5. 平成 28 年度京都府医師会会員福祉事業の予定について（谷口理事）

平成 28 年度の府医会員福祉事業の予定を紹介し、奮ってご参加いただくように地区での周知を依頼した。

6. TV 中継による日医かかりつけ医機能研修制度 平成 28 年度応用研修会の

開催について（小野理事）

5月22日（日）に日医会館で行われる「日医かかりつけ医機能研修制度研修会」について、日医テレビ会議システムでの同時中継にて、府医会館とともに、舞鶴および綴喜地区でも行われることを報告し、多数の会員の受講を募った。

7. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）

5月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し、多数の参加を呼びかけた。

8. その他

新旧庶務担当理事連絡協議会の開催について（谷口理事）

7月16日（土）に京都ホテルオークラで開催予定の新旧庶務担当理事連絡協議会について、奮ってご参加いただくよう依頼した。

9. 地区からのご意見・ご要望

なし。